



笠松町立笠松小学校 学校だより NO.12

槐 (えんじゅ)

令和8年2月25日

～学校の教育目標～

みんなのしあわせを考えて
豊かな心でねばり強くやりぬく子

最後の仕上げに入りました

校長 佐々木 治

笠松小学校で6年間過ごしてきた6年生があと一か月で卒業します。それぞれが6年間の思い出と宝物をもって巣立っていくことを心から願っています。そんな卒業の仕上げの時期の6年生の姿を紹介します。

【自分の思いを一文字に】

毎年、卒業を前に自分の思いを一文字に表している6年生。今年は、講師を招き、自分の思いを己書で表現しました。講師の先生に事前に一人一人の手本を準備していただき、手本を見ながら自分だけの作品を作り上げました。完成した文字とその文字に込められた思いは、3月の広報誌に掲載されます。



【自分の思いを歌声に】

毎年、卒業式に卒業合唱を行っています。今年は「この星に生まれて」「旅立ちの日に」の二曲を披露します。混声合唱のきれいな響きになるように、講師の先生からの的確にアドバイスをいただき完成に近づいています。卒業式には、一人一人の思いが伝わる歌声が聞けることを楽しみにしています。



【自分の思いを地域に】

例年卒業前に、笠松大名行列お奴保存会の方に来ていただき、体験教室を開いています。今年度も保存会の方からお奴の歴史や道具の説明をうけたあと、毛槍の振り手体験をしました。短い時間でしたが、全員があっという間に様々な所作ができるようになりました。是非、4月12日の大名行列に参加している姿が見たいと思いました。



本校では、昭和43年の11月に道徳教育研究発表をし、その後50年以上、道徳教育を中心に研究を進めてきています。本年度も研究の成果を論文にまとめ、「岐阜県道徳教育奨励賞」に応募し、優秀賞をいただきました。今までの諸先輩方の積み重ねだけでなく、地域の方、ご家庭のご理解と支えがあつての成果だと思っております。今後も道徳にまち笠松にふさわしい子どもたちの育成に尽力していきますのでよろしくお願いいたします。

鮎鮎の授業で笠松の歴史を学びました (5年生)

2月4日(水) 5年生の子どもたちが鮎鮎街道に関する講話を聞きました。

また、実際に大名行列の籠を持ったり、鮎鮎を食べたりして、当時の笠松の様子と江戸時代の文化・歴史についての理解を深めることができました。

地域の方から笠松について学ぶ貴重な時間となりました。



3月の主な行事

(令和8年2月24日現在)

【3月】

- 2日(月)ありがとうの会・委員会
- 11日(水)たてわりあそび(5年生主催)
- 13日(金)ワックスがけ
- 25日(水)卒業証書授与式
(1~4年生お休み)
- 26日(木)修了式・離任式



【今後の予定】

- 3月27日(金)~4月6日(月)春休み
- 4月 7日(火)令和8年度入学式・始業式
- 4月21日(火)授業参観・懇談会
- 5月 1日(金)引渡し訓練
- 5月23日(土)運動会
- 5月25日(月)振替休業日



卒業証書授与式

3月25日(水)午前9時より、講堂で行います。あとわずかです。6年生の子どもたちが、笠松小学校を巣立っていきます。6年生は笠松小学校のリーダーとして、忙しい日々の中で多くのことを経験し、学び、大きく成長しました。教職員一同も喜びと共に感謝の気持ちを抱いています。

ここまで、深く愛情を注いでこられたご家族の皆様は感慨もひとしおのことと推察申し上げます。また、日々温かく見守ってくださった地域の方々にも感謝の気持ちを忘れずに、子どもたちは中学校に進学します。皆様と共に、笠松小学校 教職員一同、晴れの門出を心よりお祝いいたします。卒業生の今後のさらなる活躍を期待しています。